

We're almost there. We can do it! あとすこし、あともうすこし

校長 桑野 啓子

学園だより2024年度最終号をお届けする時期を迎えました。2月には、多くの保護者のみなさんが、1～6年英語グローバルタイム、授業参観、発表参観、学年懇談会等にご参加くださいました。ありがとうございました。また今月は、7年8年の保護者のみなさんに、授業参観等についてご案内しております。保護者のみなさん、地域のみなさんが、学園に寄せてくださるあたたかいご支援のお気持ちや深いご理解とご協力により、大きなパワーをいただきながら、2024年度3月を迎えておりますことを大変ありがたく思っております。

先月27日に「9年生を送る会」を実施いたしました。今年度も体育館に3つの学年がローテーションで入り、舞台のひな壇にスタンバイする9年生に向けて、「卒業おめでとう」「これまでありがとう」「これからもお元気で」の気持ちを込めて、1～8年生の子どもたちがメッセージを送り、パフォーマンスを披露しました。9年生は、笑顔あふれる柔和な表情で、しっかりとリアクションをしながら、在校生に拍手を贈っていました。1590人の子どもたちが互いに心を通わせるこのやりとりに胸がいっぱいになり、一貫校である彩都の丘学園のありがたさを改めて実感する時間でもあります。ちょうど校内には「おめでとう」装飾が整ったタイミングでもあり、この3月は、14日の14期生の卒業証書授与式にむけて、徐々に準備を進める時期でもあり、9年生に心を寄せて、ともに過ごした時間をじっくりと振り返る3月でもあります。

8日には、校区青少年を守る会さんが、「第3回校区たんけん」を実施していただきます。校区内の見守りとして、PTA 役員、実行委員さん、地域の方々、保護者の方々のご協力もいただきながら、今回も多くの子どもたちの笑顔を楽しみに、「校区たんけん」ゴールのアベニュー前で待っています。みなさん、どうぞよろしくお願いいたします。また、毎年PTA さんから子どもたちの進級や卒業にあたり、記念品を頂戴しております。「どんなものがよいだろうか」と悩んでくださり、段取りをしてくださるご様子や、多くのベルマークを集めてくださり、子どもたちが活用できる物品を用意してくださるご様子に、学園に寄せてくださる保護者さんのお気持ちを心からありがたいことと感謝しております。

タイトルの *We're almost there! We can do it.* のことばは、以前に学園だよりでご紹介したことがあります。「あともう少し」「もうすぐやから、頑張ってみよう」という意味になります。彩都の丘学園は2025年に創立15周年を迎えます。箕面市内でもひときわ大きい学園になりました。しかし創立以来変わることのない「1年から9年のたてのつながり」を大切に、その時々に必要なマイナーチェンジを柔軟に繰り返しながら、「学ぶ、鍛える、つながる」彩都の丘学園であり続けたいと考えています。学園に気持ちを寄せてくださるすべての方々との連携を支えに、すべての子どもたちと我々教職員はいつも「あとすこし、あともうすこし」と互いに励まし合いながら、歩みをとめず進みたいのです。2024年度も様々な場面でトライする子どもたちの姿が見られました。締めくくりと新年度への準備として、だれにとっても有意義な3月にしたいと思えます。すべてのみなさま、来る2025年度も彩都の丘学園に変わらぬお力添えを賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。